

事業用大規模建築物における再利用計画書

《注①》

令和7年4月1日

千代田区長 様

記入例

建築物名称 ○×ビル (3456)  
 建築物所在地 千代田区外神田1-1-6  
 所有者住所 千代田区外神田1-1-6  
 株式会社○△商事  
 所有者氏名 代表取締役○○○○  
 (法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

建築物名称の後に、  
【お問合せ番号】の  
記載をお願いします。

《注②》

千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例第14条第3項の規定により、事業用大規模建築物における令和7年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

建築物の属性			
地上	階 地下	階 事業用延べ床面積	《注③》16,956㎡
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)		事務所	4 社 11,000㎡
建築物の名称		店舗(飲食店を除く)	1 店 3,300㎡
建築物の所在地		飲食店・ホテル・式場	0 店 m
階数(地上・地下)		工場・研究施設	1 所 400㎡
事業用延べ床面積		倉庫・流通センター	所 m
当該建築物を使用している事業者の名称(別紙添付可)《注④》 ○△企画 △△不動産 ○×物産 □□商会 ○○屋 □△医院 ◇◇研究所		医療機関	1 所 100㎡
在館人員 従業員(テナント従業員含む) 500人 計		その他( )	m
《注⑤》 外来者(通学者を含む) 45人 545人		住宅	2 世帯 300㎡
		共用部分 《注⑥》	2,200㎡
		計	17,300㎡
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先
一般廃棄物	(株)○○商会	□□□	☆☆清掃工場
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先	
紙類	(株)○○商会	(有)□◇紙業	
段ボール	○△商店	○□産業	
厨芥	△▽商店	(株)☆☆農園	
ビン類	(有)○○センター	▽▽ガラス(株)	
カン類	◇◇興業	◇▽リサイクルセンター	
廃油	(有)●●商事	△▽油脂	
令和6年4月に設置した分別回収ごみ容器及びリサイクルボックスが定着し、再生可能な紙類等の大半がリサイクルされるようになった。			
今年度の目標			廃棄物管理責任者
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減を予想される事由等 ・焼却していた伝票類をリサイクルしたため。 ・今年度建替え(取壊し)により、○月より減となる。 (解体予定 令和○年○月頃、竣工予定 令和○年○月頃)			選任年月日 ○年○月○日
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標 ・再利用率を10%アップさせる。			廃棄物管理責任者講習会受講 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
3 今後の具体的取り組みについて ・テナント会議で処理量を減らす為の協力を呼びかける。 ・ビル内を定期的に巡回して、分別状況を確認する。			(受講年月日 ○年○月○日)
新規の建築物や建替え・取壊し等の予定は、こちらに記載してください。			会社名 株式会社 ○○○会社
			所在地 〒○○○-○○○○ 東京都千代田区外神田1-1-6
			所属名 名 □△部○○課 課長
			職 名
			フリガナ ちよだ たろう
			氏 名 千代田 太郎
			電話番号 03(6260)8506 内線 ○○○

《注①》 本計画書の作成年月日を記入してください。  
 《注②》 要綱(依頼通知文裏面の参考6)の所有者の範囲等を参考にしてください。  
 《注③》 事業用延べ床面積には、住宅分の面積を含めず、共用部分については、事業用途分と住宅分で按分し、事業用途分のみ加算してください。  
 《注④》 事業者とはテナント名です。書ききれない場合は、別紙で添付してください。所有者自身だけが入居している場合は記入しないでください。  
 《注⑤》 外来者は、1日平均の人数を記入してください。  
 《注⑥》 共用部分とは、階段、廊下、機械室、ロビー等不特定多数が使用している部分です。

# 再利用計画書の記入例

※提出用は「今年度計画」「対前年度」の数量欄も記入してください。

建築物名称

〇×ビル

問合せ番号

3456

※令和7年度提出分より、  
黄色部分が追加・変更  
されましたので、ご確認ください。

種類	前年度実績(R6年4月～R7年3月)				今年度計画(R7年4月～R8年3月)			対前年度(今年度計画－前年度実績)			
	発生量 (A)	処理区分		再利用率 (B÷A×100)	発生量 (D)	処理区分	再利用率	発生量の増減	再利用の増減	廃棄量の増減	
		再利用率	廃棄量 (C)								(E)
事業系 可燃物	①コピー・OA用紙	20.0t	20.0t	.t	100.0%	【要確認】ご記入についての注意事項	※①～⑥で 廃棄(焼却) している量は ⑦へ記入。	・OA用連続帳票の量もこの欄に記入。 ・色付きOA用紙は「③雑誌」の欄に記入(分別)。 ・一括して廃棄した保存文書や機密文書の量(通常と別契約も含む)の記入。 ・溶解処理分は再利用率、焼却処理分は⑦に記入。 ・シュレッダー処理したものは含まない。(⑥または⑦へ記入) ・新聞折込以外のチラシ等はこの欄に記入。 ・①～⑤以外でリサイクルしているシュレッダー紙・封筒・雑古紙など。 ・焼却している紙。 (汚れた紙、使用済ティッシュペーパー、焼却処理するシュレッダー紙・機密文書など。)	⑦再利用率 (B÷A×100)	(F-C)	
	②機密文書等(一括処理文書)	1.5t	1.5t	.t	100.0%						
	③雑誌・パンフレット・色付き紙	7.5t	7.5t	.t	100.0%						
	④新聞・折込チラシ	1.6t	1.6t	.t	100.0%						
	⑤段ボール	9.5t	9.5t	.t	100.0%						
	⑥ミックスペーパー	21.9t	21.9t	.t	100.0%						
	⑦再利用率しない紙類	5.5t	.t	5.5t	0.0%						
	紙類小計(①～⑦の合計)	67.5t	62.0t	5.5t	91.9%						
	⑧生ごみ(茶殻、残飯、吸殻等)	30.5t	20.0t	10.5t	65.6%						・食品残渣をリサイクルしている場合は、再利用率に記載してください。
	⑨木・草・繊維等	2.0t	.t	2.0t	0.0%						・一般廃棄物の「しき・ふき」「動物死体」「医療廃棄物(焼却分)」もこの欄に記入。
可燃物合計(①～⑨の合計)	100.t	82.0t	18.0t	82.0%							
事業系 不燃・焼却不適物	⑩飲食用びん類	11.7t	11.7t	.t	100.0%	・自動販売機設置業者回収(バンダー回収)分についても、すべて処理量に含めてください。 ・弁当がらを事業系一般廃棄物として契約・回収依頼している場合、それ以外は⑮廃プラスチックに記入。 ・ビニール類、発泡スチロール、プラスチック類など。 ・⑩～⑮以外の金属、ガラスなど。 ※汚泥は含めないでください。					
	⑪飲食用缶類	8.6t	8.6t	.t	100.0%						
	⑫ペットボトル	3.1t	3.1t	.t	100.0%						
	⑬食用油	0.2t	0.2t	.t	100.0%						
	⑭弁当ガラ	2.2t	.t	2.2t	0.0%						
	⑮廃プラスチック	2.0t	2.0t	.t	100.0%						
	⑯その他( )	.t	.t	.t	.%						
不燃・焼却不適物合計(⑩～⑯の合計)	27.8t	25.6t	2.2t	92.1%							
⑰特定の事業活動に伴う可燃物	.t	.t	.t	.%	・特定事業者から排出される、産業廃棄物に該当する「木くず」「紙くず」「繊維くず」など。						
総合計(①～⑰の合計)	127.8t	107.6t	20.2t	84.2%							

備考  
 ・数量については、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの表示にしてください。  
 ・再利用率は、再利用率を発生量で除し、%表示で、小数点以下第一位まで記入してください。(小数点以下第二位を四捨五入)  
 ・( )内は主な具体的内容等を記入してください。

# 記入例

令和 7年 4月 1日現在

## ごみ処理・リサイクルフロー図

建築物名称

○×ビル

問合せ番号

3456

( 区収集に出されている場合は、右「区収集」に○を記入し、わかる範囲で下記に記入してください。 区収集 )

